

リフトマン用オプション ボードアッパ

100kgまで・室内用

◆特長◆

図1. リフトマンを使用してボード等の板状の物を荷上げる目的で開発されました。もちろんバランス的にあった物であれば、何でも荷上げ作業することができます。

図2. 組立が簡単です。他メーカーのハシゴとウインチ使用の荷上げに比べて組立が早く、軽くて、低価格。すばやい動きが好評です。

図3. ワンタッチ接続です。頭部荷台はワンタッチで交換できます。各オプションにすばやく交換して、多目的に荷上げができます。

図4. 接続は安全ピンをリフトマンのフランジ穴に入れることにより確実な接続を確保しました。

図5. 伸長維持チェーンの採用により跳ね上がりの防止、指定位置での停止ができ、敏速な安全作業ができます。

図6. リフトマンは自立式なので足場のしっかりした場所であればどこでも使えます。ハシゴ荷上機のように支えることを必要としません。足場のしっかりした場所であればどこでもスムーズに荷上げできます。

(風のある場所を使用しないで下さい。基本的には室内仕様です。)

図1. 図2



図3 ボード天板



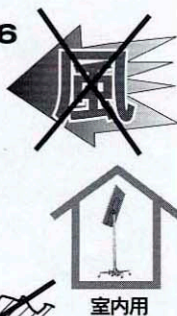
ボードアッパ



図5

図4

図6



室内用

ボードアッパ仕様

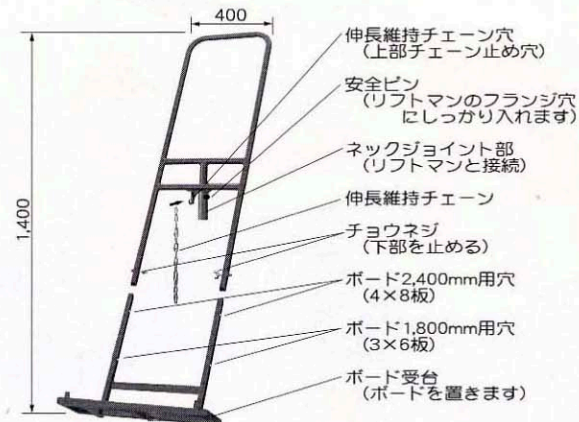
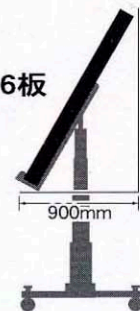


図7

3×6板



4×8板

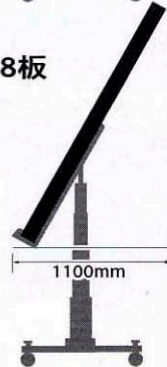


図7. 3×6板を上げる時の開口部は最低900mm×1000mmあれば充分です。4×8板を上げる時の開口部は1100mm×1300mmあれば充分です。

◎荷上げ一例

★3尺×6尺×9mm = 1枚約10kg : 約10枚(100kgまで)

★4尺×8尺×12mm = 1枚約23kg : 約4枚(100kgまで)

図8. 工具箱等は荷上げできませんが、バランス的に合わせた材木(ばらけない様にしっかり固定した)等は荷上げすることも可能です。又、工具箱・クーラー等は標準天板を使用して荷上げて下さい。

●運搬方法を選びません。小さくなるのでそのための人数や車を用意する必要はありません。一人で運べ、一人で作業することができます。もちろん乗用車に入ります。

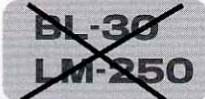
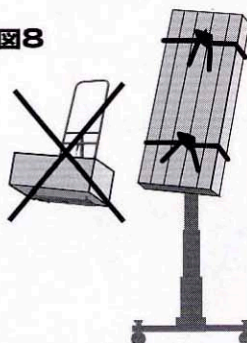
●釘打機用コンプレッサーと兼用できます。(8気圧コンプレッサー<3/4馬力>以上でご使用下さい。)

◆注意◆

●リフトマンLM-300、LM-350、LM-400、LM-560を使用して下さい。BL-30、LM-250は足が短いので安定しません。

●足踏みフットポンプは最大荷重50kgです。

図8



名称	型式	使用できるリフトマン	荷上げ最大重量	本体寸法	本体重量
ボードアッパ	OP-L4	LM-300、LM-350、LM-400、LM-560 注：BL-30、LM-250は足が短いので安定しません。	100kg	本体：1400mm×400mm ボード受台：140mm×580mm	10kg